KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

M-616DV

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、別紙の「安全上のご注意」、取扱説明書の本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。

取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

JVC KENWOOD Corporation

Made for iPod iPhone

MP3 WMA

DOLBY DIGITAL

DVD VIDEO

COMPACT disc SUPER VIDEO

CD-R/RW PLAYBACK

DIVX

© B60-5872-08/00 (J) LVT2249-003A

もくじ

お使いになる前に

映像を見る・音楽を聞く

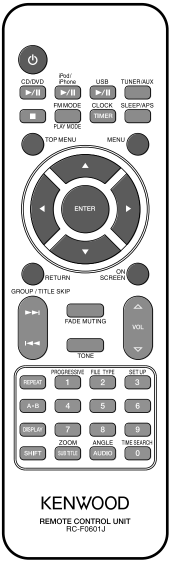
もっと使いこなす

メンテナンス

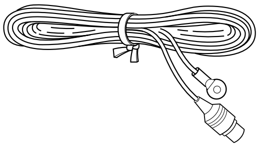
付属品について

付属品

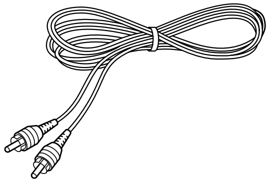
リモコン
（RC-F0601J：1個）



FM室内アンテナ
（1個）



ビデオコード
（1本）



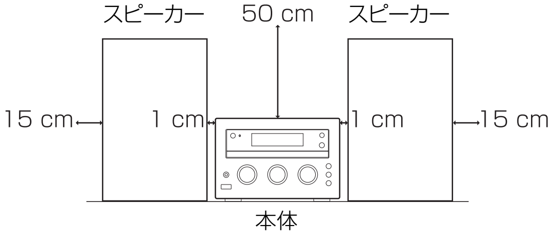
設置するときは

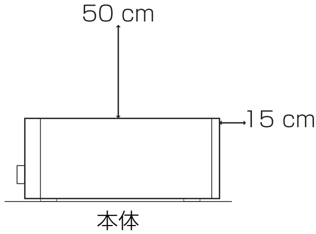
本機を設置するときのご注意

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない。
- 本や雑誌などをのせない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。





機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

接続のしかた

基本接続

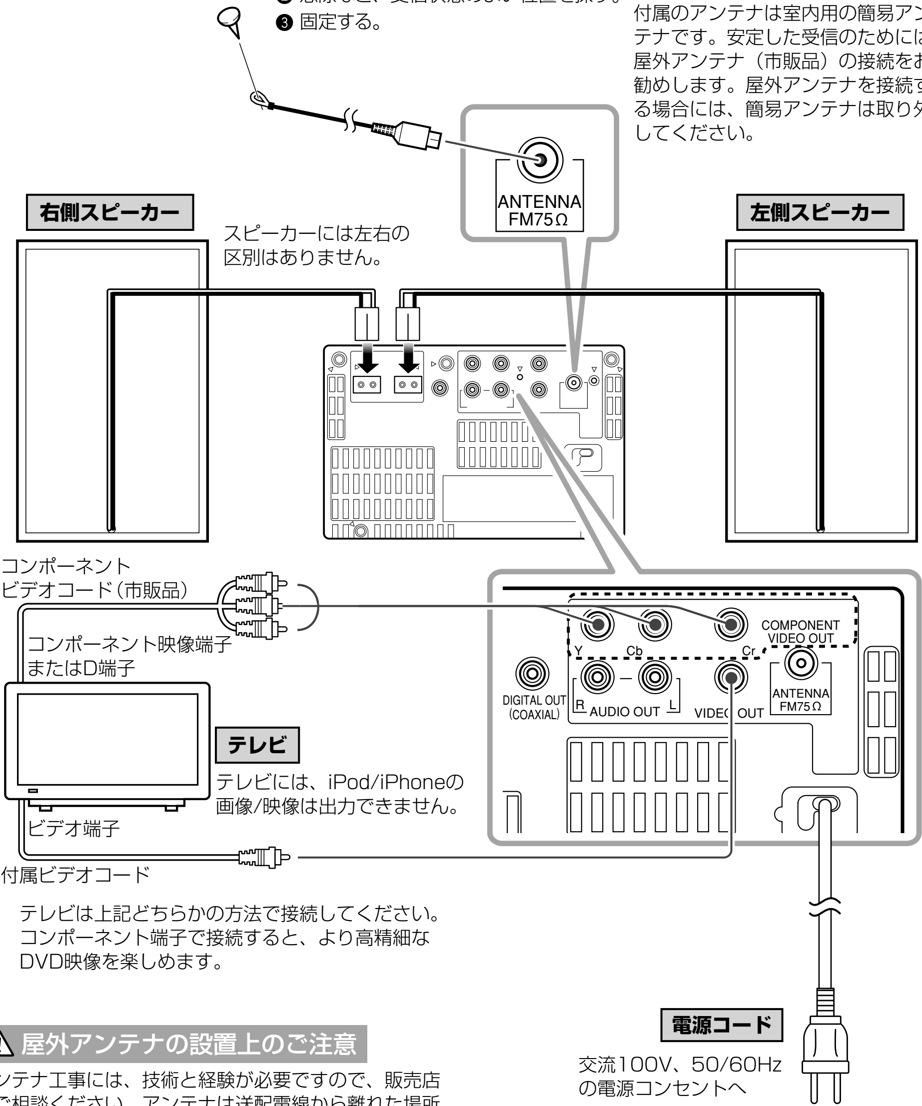
接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

FM室内アンテナ

❶ [ANTENNA FM75Ω]端子に接続する。
❷ 窓際など、受信状態のよい位置を探す。
❸ 固定する。

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。



テレビは上記どちらかの方法で接続してください。
コンポーネント端子で接続すると、より高精細なDVD映像を楽しめます。

交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ
コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

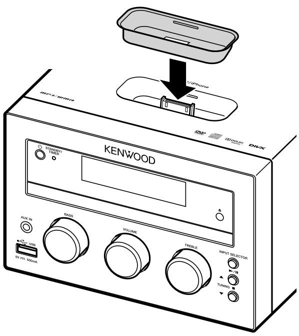
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

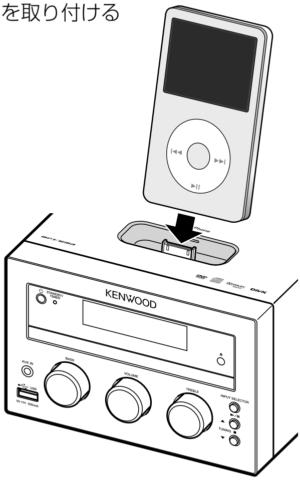
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

iPod/iPhone

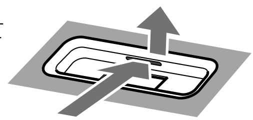
❶ iPod/iPhoneに付属、または市販のDockアダプターを本機に取り付ける



❷ iPod/iPhoneを取り付ける



- iPod/iPhoneにカバーやケースなどのアクセサリーを付けたまま本機に取り付けることはできません。必ず取り外してください。
- iPod/iPhoneの機種（iPod nano第6世代など）によっては、Dockアダプターが不要な場合もあります。
- iPod/iPhoneの抜き差しは、まっすぐ、ていねいに行なってください。
- Dockアダプターを取り外すときは、指の爪や先の細いものをスロット部にかけてDockアダプターを引き上げてください。その際には、爪を傷つけたり、端子を破損しないように気をつけてください。
- 本機の端子部分に直接さわったり、物を当てたりしないでください。破損の原因になります。
- iPod/iPhoneを接続したまま本機を移動させないでください。iPod/iPhoneが落下して、破損するおそれがあります。
- 本機の電源が入っている間、iPod/iPhoneは充電されます。

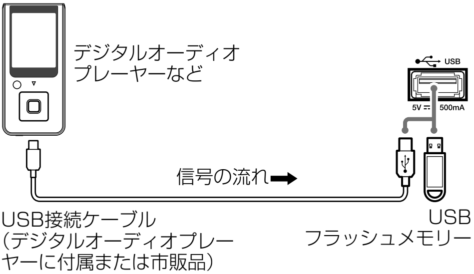


Dockアダプターの外し方

•⇠ USB (USB機器接続端子)

USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体前面部の[•⇠ USB]端子に接続します。

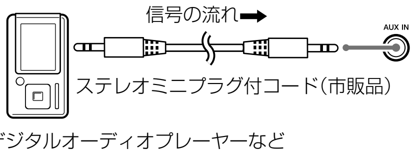
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。
- USBハブなどを介してUSB機器を認識させることはできません。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の[AUX IN]端子に接続して再生してください。
- [•⇠ USB]端子にはiPod/iPhoneを接続しないでください。
- 本機の電源が入っている間、USB機器に電源供給および充電されます。



AUX IN (外部入力端子)

デジタルオーディオプレーヤーや外部機器を本体前面部の[AUX IN]端子に接続します。

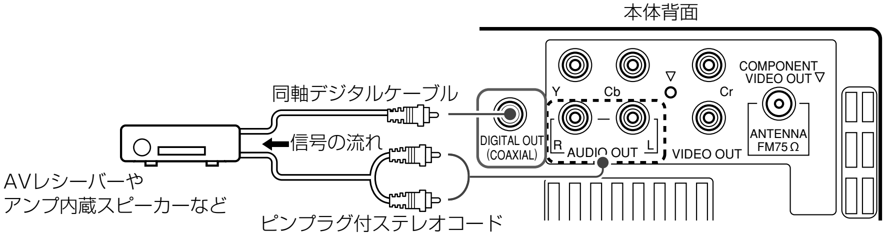
- φ3.5mm ステレオミニプラグ付ケーブル（市販品）を使って接続します。



DIGITAL OUT (COAXIAL)（同軸デジタル出力）、AUDIO OUT（音声出力）

AVレシーバーやアンプ内蔵スピーカーなどを、本体背面部の[DIGITAL OUT (COAXIAL)]端子、または[AUDIO OUT]端子に接続します。

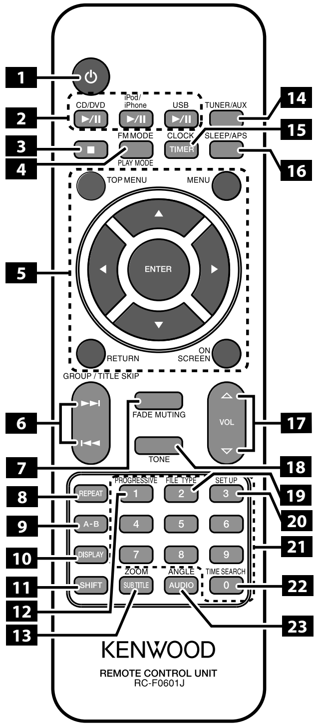
- [DIGITAL OUT (COAXIAL)]端子には、同軸デジタルケーブル（市販品）を使って接続します。
- [AUDIO OUT]端子には、ピンプラグ付ステレオコード（市販品）を使って接続します。
- [AUDIO OUT]端子からは、iPod/iPhone、[AUX IN]端子に接続した外部機器やラジオ放送の音声は出力されません。



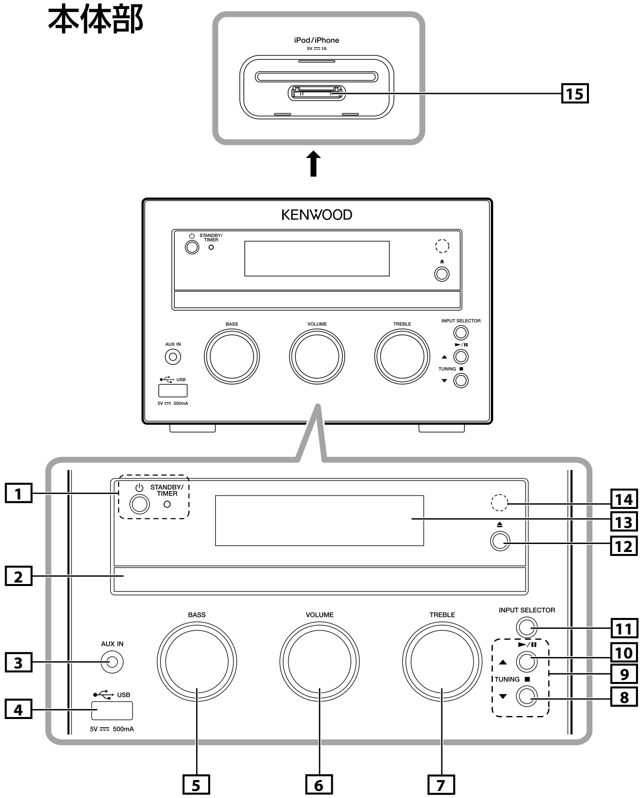
お使いになる前に

各部のなまえと働き

リモコン部



本体部



本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
操作には時間制限があるものがあります。設定が終わる前に自動的に取り消されたときは、もう一度操作してください。

1 **1** **⏻（電源）**
- 電源のON/OFF(スタンバイ)を切り替えます。

STANDBY/TIMER インジケーター
- 赤色：スタンバイ状態
- 橙色：タイマースタンバイ状態

2 **CD/DVD ►/II、iPod/iPhone ►/II、USB ►/II**
- ソース（音源）を切り替えます。
- 再生 / 一時停止をします。

3 **8** **■**
- 再生を停止します。

4 **FM MODE/PLAY MODE**
- FM ラジオのステレオ / モノラルを切り替えます。
- プログラム再生、ランダム再生モードに切り替えます。

5 **▲/▼/◄/►（マルチコントロール）**
- 各種設定を選びます。

▲/▼
- ラジオを聞いているときは、選局周波数のアップ / ダウンをします。

ENTER
- 項目を決定します。

RETURN
- VCD の PBC 再生時に、前の階層に戻ります。

ON SCREEN
- 画面に表示する情報の表示 / 非表示を切り替えます。

TOP MENU
- DVD のトップメニューを表示します。

MENU
- DVD のメニューを表示します。

6 ▶▶| / |◀◀
- 曲や映像をスキップします。
- 長押しで早送り / 早戻しをします。
- プリセットした放送局を選びます。
- （[SHIFT] を押しながら）オーディオファイルのグループや、DVD のタイトルをスキップします。

7 **FADE MUTING**
- 一時的に消音します。

8 **REPEAT**
- 繰り返し再生します。

9 **A-B**
- 選択した部分を繰り返し再生します。

10 **DISPLAY**
- 時計表示をします。

11 **SHIFT**
- このボタンを押しながら青い文字のボタンを押すと、青い文字の機能になります。

12 **PROGRESSIVE**
- （[SHIFT] を押しながら）映像信号出力（プログレッシブ / インターレース)の設定をします。
- （[SHIFT] を押しながら）放送局のマニュアルプリセットをします。

13 **SUBTITLE/ZOOM**
- DVD の字幕を切り替えます。
- （[SHIFT] を押しながら）ズームします。

14 **TUNER/AUX**
- ソース（音源）を TUNER または AUX に切り替えます。

15 **CLOCK/TIMER**
- 時計を設定します。
- タイマーを設定します。

16 **SLEEP/APS**
- スリープタイマーを設定します。
- A.P.S.（省エネモード）を設定します。

17 **VOL △/▽**
- 音量を調整します。

18 **TONE**
- 音質を調整します。

19 **FILE TYPE**
- （[SHIFT] を押しながら）再生するファイルの種類を選びます。

20 **SETUP**
- （[SHIFT] を押しながら）セットアップ画面を出したり消したりします。

21 **数字（0 – 9）**
- 曲やファイルを選びます。
- プリセットした放送局を選びます。

22 **TIME SEARCH**
- （[SHIFT] を押しながら）オンスクリーンバーを操作して、再生する位置を指定します。

23 **AUDIO/ANGLE**
- DVD、VCD、DivX ファイルの音声を切り替えます。
- （[SHIFT] を押しながら）DVD のアングルを切り替えます。

2 **ディスクトレイ**

3 **AUX IN（外部入力端子）**

4 **USB（USB 機器接続端子）**

5 **BASS ノブ**
- 低音を調整します。

6 **VOLUME ノブ**
- 音量を調整します。

7 **TREBLE ノブ**
- 高音を調整します。

9 **TUNING ▲/▼**
- ラジオを聞いているときに、選局周波数のアップ / ダウンをします。

10 **►/❚❚**
- 再生 / 一時停止をします。

11 **INPUT SELECTOR**
- ソース（音源）を切り替えます。

12 **▲**
- ディスクトレイを開閉します。

13 **表示部（ディスプレイ）**

14 **リモコン受光部**

15 **iPod/iPhone 用ドック**

スタンバイ状態について

本機の [STANDBY/TIMER] インジケーターが点灯中は、マイコン動作のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源を ON にできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、[CD/DVD ►/❚❚]、[iPod/iPhone ►/❚❚]、[USB ►/❚❚]、[TUNER/AUX]、[INPUT SELECTOR]、[▲] を押すと本機の電源が ON になります。ソース（音源）がセットされていれば、自動的に再生が始まります。

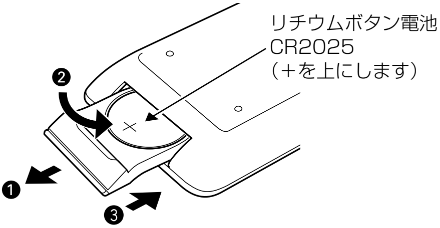
リジューム機能について

CD、DVD、USB などを再生中に停止し、再度 [CD/DVD ►/❚❚]、[USB ►/❚❚]、[►/❚❚] を押すと、停止した位置またはファイルの先頭から再開します。停止中に [■] を押すと、リジューム機能は解除されます。ディスク再生中に CD トレイを開けても、次にそのディスクを再生するときにリジューム再生します。

リモコンを準備する

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池を交換するときは



❶ 電池ホルダーを引き出す

❷ 電池ホルダーにリチウムボタン電池を入れる

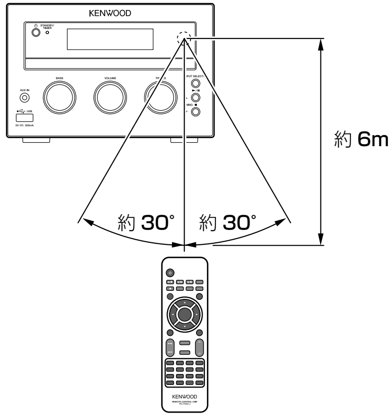
❸ 電池ホルダーを元に戻す

- 付属の電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池ホルダーを引き出すときに、つめを痛めないように注意してください。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの**[⏻]電源**を押すと、電源がONになります。

電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた

電源をONにする（OFFにする）

[⏻]**電源**を押す。

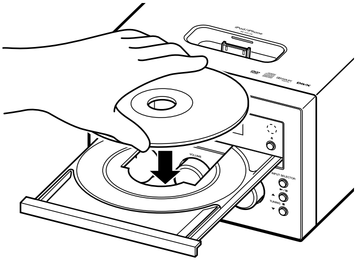
[STANDBY/TIMER]インジケーターが消灯します。

電源がONのときに[⏻]**電源**を押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

ソース（音源）を準備する

ディスクを入れる場合

[⏏]を押し、CDトレイを開けます。レーベル面を上にして、ディスクをCDトレイに置き、[⏏]を押してCDトレイを閉めます。



■ディスクを取り出すには...

[⏏]を押し、CDトレイを開けディスクを取り出します。

iPod/iPhoneを取り付ける場合

挿し込む方向に注意して確実に取り付けてください。(6ページ)

■iPod/iPhoneを取り外すには...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてから取り外します。

USB機器を接続する場合

挿し込む方向に注意して確実に接続してください。(7ページ)

■USB機器を取り外すには...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

ソース（音源）を切り替え、再生する

リモコン：
[CD/DVD ►/II]/[iPod/iPhone ►/II]/[USB ►/II]/[TUNER/AUX]を押す。

本体：
[INPUT SELECTOR]を押してソース（音源）を選ぶ。

ソース（音源）を認識中は"READING"と表示されます。認識が終わると自動的に再生します。

■停止するには...
[■]を押す。

音量を調整する

リモコン：
[VOL △/▽]を押す。

本体：
[VOLUME]ノブを回す。

時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。

MIN (0)〜MAX (31)の間で調整できます。

一時的に消音する

[FADE MUTING]を押す。
"MUTING"表示が点滅します。

■消音を解除するには...
もう一度[FADE MUTING]を押す。または、音量の調整をする。

音質を調整する

好みに合わせて、低音と高音の音量を調整できます。

リモコン：

❶ [TONE]を押してBASS(低音)または TREBLE（高音）を選ぶ。

❷ [VOL △/▽]を押してそれぞれの音量を調整する。

本体：
[BASS](低音)ノブまたは[TREBLE]（高音）ノブを回してそれぞれの音量を調整する。

-8〜+8の間で2段階ごとに調整できます。

ディスク/USBを再生する

DVD/VCDを再生する

リモコン：
[CD/DVD ►/❚❚]を押す。

本体：
[INPUT SELECTOR]を押して"DVD"を選ぶ。

タイトル/チャプター番号と、チャプターの再生経過時間が表示されます。

再生中 / 停止中のボタン操作

- 表中の [►/❚❚] は、リモコンの [CD/DVD ►/❚❚] あるいは本体の [►/❚❚] で操作できます。

動作	操作
停止	[■] を押す。
一時停止	[►/❚❚] を押す。 再度押すと解除します。
チャプター / トラックを選ぶ	[►►❙ / ❙◄◄] を押す。
タイトルを選ぶ	[SHIFT] を押しながら [►►❙ / ❙◄◄] を押す。
早送り / 早戻し	[►►❙ / ❙◄◄] を長押しすると、以下の順で再生速度が変わります。お好みの速度でボタンをはなしてください。 "x2" → "x4" → "x8" → "x20" [►/❚❚] を押すと通常再生に戻ります。
スロー再生	❶ [►/❚❚] を押して一時停止する。 ❷ [►]（マルチコントロール）を長押しすると、以下の順で再生速度が変わります。お好みの速度でボタンをはなしてください。 "1/2" → "1/3" → "1/4" → "1/5" → "1/6" → "1/7" → "PLAY" [►/❚❚] を押すと通常再生に戻ります。
コマ送り	❶ [►/❚❚] を押して一時停止する。 ❷ [▲] を押す。 [►/❚❚] を押すと通常再生に戻ります。
字幕を選ぶ（DVD のみ）	再生中に [SUBTITLE] を押す。押すたびに切り替わります。
音声を選ぶ（DVD のみ）	再生中に [ANGLE/AUDIO] を押す。押すたびに切り替わります。
音声を選ぶ（VCD のみ）	再生中に [ANGLE/AUDIO] を押す。押すたびに次のように切り替わります。 MONO L ➜ MONO R ➜ STEREO
アングルを選ぶ（DVD のみ）	テレビ画面にアングルアイコンが点滅中に、[SHIFT] を押しながら [ANGLE/AUDIO] を押す。

DVD のメニュー操作

動作	操作
トップメニューを表示する	[TOP MENU] を押す。
メニューを表示する	[MENU] を押す。
メニュー項目を選ぶ	[▲/▼/◄/►] を押して選び、[ENTER] を押す。

- ディスクによっては、メニュー再生ができないものもあります。

VCD のプレイバックコントロール（PBC）操作

プレイバックコントロール（PBC）を使用すると、メニューからVCD/SVCDの再生ができます。

動作	操作
PBC を On/Off する	[TOP MENU] を押す。
メニュー項目を選ぶ	[**数字**] ボタンを押して選び、[ENTER] を押す。
メニューに戻る	[RETURN] を押す。

- ディスクによっては、PBC再生ができないものもあります。

映像を見る・音楽を聞く

CD/オーディオファイル/ビデオファイルを再生する

リモコン：
再生するソース（音源）の[►/II]（[CD/DVD ►/II]または[USB ►/II]）を押す。

本体：
[INPUT SELECTOR]を押して"DVD"あるいは"USB"を選ぶ。

曲/ファイル番号と、再生経過時間が表示されます。

再生中 / 停止中のボタン操作

• 表中の [►/II] は、ソース（音源）によりリモコンの [CD/DVD ►/II] または [USB ►/II]、あるいは本体の [►/II] で操作できます。

動作	操作
停止	[■] を押す
一時停止	[►/II] を押す。 再度押すと解除します。
早送り / 早戻し	[►►I / I◄◄] を長押しすると、以下の順で再生速度が変わります。お好みの速度でボタンを放してください。 "x2" → "x4" → "x8" → "x20" [►/II] を押すと通常再生に戻ります。
曲 / ファイルを選ぶ	[►►I / I◄◄] を押す。
フォルダーを選ぶ（オーディオファイル / ビデオファイルのみ）	[SHIFT] を押しながら [►►I / I◄◄] を押す。

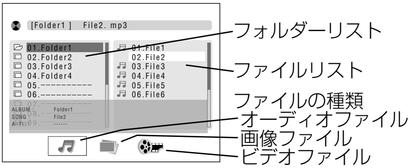
• [**数字**]ボタンでも曲/ファイルを選べます。下記のように操作してください。

	CD/ オーディオファイル / ビデオファイル
曲 / ファイル番号 "2" を選ぶ	[2]、[ENTER] の順に押す。
曲 / ファイル番号 "23" を選ぶ	[2]、[3] の順に押す。
ファイル番号 "120" を選ぶ	[1]、[2]、[0] の順に押す。

[ENTER] を押さなくても、5 秒経過すると曲 / ファイルが選ばれ再生が始まります。

ファイル選択（オーディオファイル、ビデオファイル、画像ファイル）

テレビの再生コントロール画面から、再生したいファイルを選択できます。



1 [◄/►] を押してファイルの種類を選ぶ。

2 [ENTER] を押す。

3 [◄/►] を押してフォルダーリストを選ぶ。

4 [▲/▼] を押してフォルダーを選ぶ。

5 [ENTER] を押す。

6 [►/▲/▼] を押してファイルを選ぶ。

7 [ENTER] を押す。

別の種類のファイルを選ぶ

1 ビデオファイル、画像ファイルを再生中は、[■] を押して停止する。

2 [SHIFT] を押しながら [FILE TYPE] を押してファイルの種類を選ぶ。

画像ファイルのボタン操作

• 表中の [►/II] は、ソース（音源）によりリモコンの [CD/DVD ►/II] または [USB ►/II]、あるいは本体の [►/II] で操作できます。

動作	操作
スライドショー	[►/II] を押す。
停止	[■] を押す。
一時停止	[►/II] を押す。
ファイルを選ぶ	[►►I / I◄◄] を押す。
回転	[◄/►] を押す。
上下反転	[▲] を押す。
左右反転	[▼] を押す。

• 画像ファイルを選択すると、再生コントロール画面のフォルダーリストのところにプレビュー画面が表示されます。

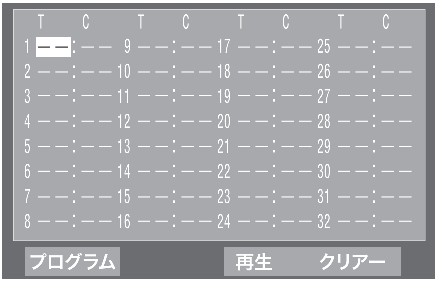
プログラム再生

テレビ画面を見ながら、再生順をプログラムできます。

1 プログラム再生するソース（音源）に切り替える。

2 [FM MODE/PLAY MODE] を押して、テレビにプログラム画面を表示する。

例：DVD



ディスプレイの"**PROG.**"が点灯します。

3 [▲/▼/◄/►] を押してプログラム番号を選ぶ。

4 [**数字**] ボタンで、曲 / ファイル番号を入力する。

DVDの場合は、タイトル番号、チャプター番号をそれぞれ入力してください。

5 手順 **3** と **4** を繰り返しプログラムする。

プログラム32まで入力できます。

プログラムした曲を取り消すときは[0]を入力します。

プログラム全体を取り消すには、[▲/▼/◄/►]を押して"**クリアー** "を選び、[ENTER]を押します。

6 [▲/▼/◄/►] を押して " **再生** " を選び、[ENTER] を押す。

■ プログラムを消去するには...

停止中に[■]を押す。

ディスプレイの"**PROG.**"が消灯します。

- 同じソース（音源）の同じ種類のファイルをプログラムできます。
- プログラム再生中に[REPEAT]を押すと、プログラム全体をリピート再生します。
- ソース（音源）を切り替えたり、電源をOFFにしてもプログラムは消去されます。

ランダム再生（画像ファイル以外）

ランダム（無作為）な順序で曲やファイルを再生できます。

ディスプレイの"**RND.**"が点灯するまで、[FM MODE/PLAY MODE]を繰り返し押す。

■ ランダム再生を解除するには...

ランダム再生中に[■]を押すと、通常再生に戻ります。

リピート再生

曲やファイルを繰り返し再生できます。

再生中または一時停止中に、[REPEAT]を押す。

押すたびに、以下のようにリピート再生します。

DVD

リピートモード	ディスプレイ / テレビ画面表示
チャプターリピート	"REPEAT 1"/" チャプター "
タイトルリピート	"REPEAT"/" タイトル "
ディスクリピート	"REPEAT"/" リピート[ALL]"
リピート解除	—/" オフ "

CD/VCD（PBC オフ）

リピートモード	ディスプレイ / テレビ画面表示
トラックリピート	"REPEAT 1"/" リピート[1]"
全トラックリピート	"REPEAT"/" リピート[ALL]"
リピート解除	—/" オフ "

オーディオファイル / ビデオファイル / 画像ファイル

リピートモード	ディスプレイ / テレビ画面表示
ファイルリピート	"REPEAT 1"/" リピート[1]"
フォルダーリピート	"GROUP REPEAT"/" グループリピート "
全ファイルリピート	"REPEAT"/" リピート[ALL]"
リピート解除	—/" オフ "

- DVDやVCDでは、リピート再生できないものがあります。
- VCDをリピート再生するときは、PBCをOffにしてください。

A-Bリピート

指定した区間を繰り返し再生できます。

1 再生中に、繰り返しを始めるところ (A 点) で **[A-B]** を押す。

2 繰り返しを終わらせるところ (B 点) で **[A-B]** を押す。

A、B間のリピート再生が始まります。

■A-Bリピートを解除するには...

もう一度**[A-B]**を押す。

ズーム

テレビに映した映像、画像を拡大 / 縮小表示できます。

1 **[SHIFT]** を押しながら **[ZOOM]** を繰り返し押してお好みの拡大 / 縮小率にする。

押すたびに以下の拡大/縮小率になります。

"OFF" → "2" → "3" → "4" → "1/2" → "1/3" → "1/4" → "OFF" → …

2 拡大表示中に **[▲/▼/◄/►]** を押すと、拡大部分を動かすことができます。

■ズームを解除するには...

"**ZOOM OFF**"が表示されるまで、**[SHIFT]**を押しながら**[ZOOM]**を繰り返し押す。

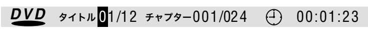
ダイレクトサーチ (DVD、VCD、CD、オーディオファイルのみ)

1 **[SHIFT]** を押しながら **[TIME SEARCH]** を押す。

オーディオファイルの場合は、再生中に押してください。

2 **[◄/►]** を押して項目（タイトル、チャプター、トラック、ファイル、時間など）数字の桁を選ぶ。

例：DVD



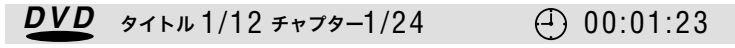
3 **[数字]** ボタンで入力する。

4 **[ENTER]** を押して入力したところから再生する。

オンスクリーンバー

テレビ画面に、再生中のディスクやファイルの情報を表示できます。

例：DVD



[ON SCREEN]を押す。

押すたびに、以下のように表示内容が変わります。

DVD

情報	テレビ画面表示
現在のタイトルの経過時間	"C"
現在のタイトルの残り時間	"C -"
ディスクの経過時間	"T"
ディスクの残り時間	"T -"
オンスクリーンバー非表示	—

CD/VCD

情報	テレビ画面表示
現在のトラックの経過時間	"C"
現在のトラックの残り時間	"C -"
ディスクの経過時間	"T"
ディスクの残り時間	"T -"
オンスクリーンバー非表示	—

オーディオファイル / ビデオファイル

情報	テレビ画面表示
現在のファイルの経過時間	"C"
現在のファイルの残り時間	"C -"
オンスクリーンバー非表示	—

画像ファイル

情報	テレビ画面表示
ファイル番号	"C"
オンスクリーンバー非表示	—

iPod/iPhoneを再生する

- iPod/iPhoneの接続のしかたは「他の機器（市販品）との接続」をご覧ください。(6ページ)
- 接続できるiPod/iPhoneについては「iPod/iPhoneの取り扱い」をご覧ください。(27ページ)

iPod/iPhoneを再生する

リモコン：
[iPod/iPhone ►/❚❚]を押す。

本体：
[INPUT SELECTOR]を押して"IPOD"を選ぶ。

再生中 / 停止中のボタン操作

- 表中の [►/❚❚] は、リモコンの [iPod/iPhone ►/❚❚] あるいは本体の [►/❚❚] で操作できます。

動作	操作
メニュー画面の呼び出し / 選択	[MENU] を押してメニュー画面を呼び出す。 [▲/▼] でメニュー項目を選択して [ENTER] で決定する。
一時停止	[►/❚❚] を押す。再度押すと解除します。
早送り / 早戻し	[►►❙ / ❙◄◄] を長押しする。 放すと通常再生に戻ります。
曲を選ぶ	[►►❙ / ❙◄◄] を押す。

- 一部のiPod/iPhoneでは、メニュー画面の操作を行なうときはiPod/iPhoneで操作してください。
- iPod touchまたはiPhoneの接続中に次の操作を行うときは、iPod touch/iPhoneで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする

ランダム再生

ランダム（無作為）な順序で曲を再生できます。

[FM MODE/PLAY MODE]を押す。

押すたびに、iPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。

リピート再生

曲を繰り返し再生できます。

[REPEAT]を押す。

押すたびに、iPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。

- iPod/iPhoneの音声は[DIGITAL OUT (COAXIAL)]端子と[AUDIO OUT]端子には出力されません。
- iPod/iPhoneの画像/映像は、テレビには出力されません。

外部機器を再生する

本機に接続した外部機器を再生します。

- 外部機器の接続のしかたは「他の機器（市販品）との接続」をご覧ください。(6、7ページ)
- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

外部機器を再生する

1 **リモコン：**
[TUNER/AUX]を押して"A-IN"を選ぶ。

本体：
[INPUT SELECTOR]を押して"A-IN"を選ぶ。

2 接続した外部機器を再生する。

- 外部機器の音声は[DIGITAL OUT (COAXIAL)]端子と[AUDIO OUT]端子には出力されません。

FMラジオ放送を聞く

・本機はAM放送には対応していません。

FMラジオ放送を聞く

1 **リモコン：**

[TUNER/AUX]を押して"TUNER"を選ぶ。

本体：

[INPUT SELECTOR]を押して"TUNER"を選ぶ。

2 **リモコン：**

[▲/▼]を長押しすると自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

本体：

[TUNING ▲/▼]を長押しすると自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

・選局を途中で止めたいときは、もう一度[▲/▼]/[TUNING ▲/▼]を押します。
・[▲/▼]/[TUNING ▲/▼]を繰り返し押すと、周波数が0.1 MHzずつ変わります。
・ラジオ放送の音声は[DIGITAL OUT (COAXIAL)]端子と[AUDIO OUT]端子には出力されません。

ステレオ / モノラルを切り替える

FMステレオ放送の受信状態の良くないときにモノラルにすると、ノイズが軽減されて聞きやすくなります。

[FM MODE/PLAY MODE]を押す。

押すたびに切り替わります。

・モノラル受信時は、ステレオ効果はなくなります。

放送局をメモリーする（マニュアルプリセット）

受信中の放送局をメモリーします。20局までメモリーできます。

1 メモリーしたい放送局を受信する。

2 [SHIFT] を押しながら [PROGRESSIVE] を押す。

"PROG."が点灯し、プリセット番号が点滅します。

3 [►►I / I◄◄] または [**数字**] ボタンを押して、メモリーしたいプリセット番号を選ぶ。

■ [数字]ボタンで選ぶには...

プリセット番号"7"：[0]、[7]の順に押す。

プリセット番号"18"：[1]、[8]の順に押す。

4 [SHIFT] を押しながら [PROGRESSIVE] を押してメモリーする。

・続けてメモリーしたいときは手順**3**でプリセット番号を別の番号にしてください。
・すでにメモリーしてあるプリセット番号にメモリーすると、新しい設定に変更されます。

メモリーした放送局を聞く

[►►I / I◄◄]または[**数字**]ボタンを押す。

ディスプレイにプリセット番号と周波数が表示されます。

■ [数字]ボタンで選ぶには...

プリセット番号"7"：[0]、[7]の順に押す。

プリセット番号"18"：[1]、[8]の順に押す。

本機の設定をする

省エネモードを設定する（A.P.S.）

A.P.S. とは AUTO POWER SAVE (オートパワーセーブ) の略で、電源が ON でディスクなどが停止状態のまま 30 分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源が OFF になる機能です。

[SLEEP/APS]を長押しする。

押すたびに、ONとOFFが切り替わります。

■ A.P.S.がONのときは...

本体が以下の条件であるとき動作します。

- ソース（音源）に"DVD"または"USB"が選択されていて、ディスクまたはUSB機器が停止中でボタン操作がない場合
- ソース（音源）に"TUNER"が選択されていて、音量が0または消音でボタン操作がない場合

A.P.S.が動作すると電源がOFFになる約1分前から"APS"が点滅します。

映像信号方式を設定する

接続したテレビに合わせて映像信号方式を設定します。

[SHIFT]を押しながら[PROGRESSIVE]を押す。

押すたびに、以下のように変わります。

テレビ表示	映像信号方式
INTERLACE	付属ビデオコードでテレビと接続する場合に選びます。
P-SCAN YPBPR	コンポーネントビデオコードでプログレッシブ方式に対応しているテレビと接続する場合に選びます。

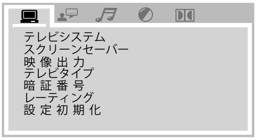
- 以下の場合は"P-SCAN YPBPR"には設定しないでください。
  - テレビがプログレッシブ方式に対応していない場合
  - テレビとの接続にコンポーネントビデオコードを使用しない場合
- テレビが対応していない映像信号の場合、映像が正しく表示されません。お使いのテレビの取扱説明書をあわせてご覧ください。

セットアップメニューを設定する

- ソース（音源）が"DVD"または"USB"のときだけ設定できます。

1 [SHIFT] を押しながら [SET UP] を押す。

2 [◄/►] を押してメニューを選ぶ。



3 [▲/▼] を押して項目を選ぶ。

4 [ENTER] を押す。

5 [▲/▼] を押して設定を選ぶ。

メニュー	項目	設定内容
	テレビシステム	接続したテレビのテレビ方式を選びます。（**NTSC**、**PAL**、**オート**）
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーのオン / オフを選びます。スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約 3 分操作がないときに動作します。（**オン**、**オフ**）
	映像出力	ビデオ方式を選びます。（**INTERLACE**、**P-SCAN YPBPR**）
	テレビタイプ	**4:3 PS**（パンスキャン） 4:3 のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます。 **4:3 LB**（レターボックス） 4:3 のテレビ用。横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 **16:9** 16:9 の映像専用のワイドテレビ用。4:3 の映像は左右に黒い帯が表示されます。
	暗証番号	**レーティング**設定を暗証番号で保護することができます。4 桁の暗証番号を登録してください。 暗証番号を控えておくことをおすすめします。 **暗証番号：** 暗証番号を忘れてしまったときは、**0000** を入力してください。
	レーティング	DVD の視聴制限を設定します。
	設定初期化	セットアップメニューの設定を初期値にもどします。
	画面表示言語	設定画面に表示される言語を選びます。
	メニュー言語	DVD ビデオのメニューの言語を選びます。
	DIVX[R] VOD	DivX の登録コードを表示します。
	ダウンミックス	DVD のマルチチャンネル音声を再生した場合の音声出力方式を選びます。 **LT/RT** ドルビーサラウンド音声を加えた音声を出力します。 **ステレオ** ステレオ音声のみ出力します。
	オーディオ出力	**[DIGITAL OUT (COAXIAL)]** 端子からの出力信号を選びます。 **SPDIF/OFF** デジタル出力しません。 **SPDIF/RAW** 接続する AV レシーバーなどが、ドルビーデジタルのデコードに対応している場合に選びます。 **SPDIF/PCM** 接続する AV レシーバーなどが、ドルビーデジタルのデコードに対応していない場合、または録音機器に接続する場合に選びます。
	明るさ	映像の明るさを調整します。（**0** ～ **12**）
	コントラスト	映像の明暗の差を調整します。（**0** ～ **12**）
	色合い	映像の色合いを調整します。（**-6** ～ **+6**）
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。（**0** ～ **12**）
	シャープネス	映像のくっきり感を調整します。（**0** ～ **8**）
	出力モード	大きな音の強さを減らし、静かな音のレベルを上げる設定をします。（**オン**、**オフ**）
	ダイナミックレンジ	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえかたの差を補正します。（ドルビーデジタルで収録された DVD ビデオのみ）（**FULL**、**6/8**、**4/8**、**2/8**、**OFF**） FULL は補正の効果が大きくなり、数値が下がるにつれて効果が小さくなります。 OFF は効果を切ります。

時計を設定する

本機の時計を設定します。

1 [CLOCK/TIMER] を押す。

"SETCLOCK"と表示され、"CLOCK"が点滅します。

2 [ENTER] を押す。

「時」表示が点滅します。

3 [▶▶I / I◀◀] を押して「時」(24 時間表示)を選び、[ENTER] を押す。

「分」表示が点滅します。

4 [▶▶I / I◀◀] を押して「分」を選び、[ENTER] を押す。

- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度時計を設定してください。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

タイマーを設定する

タイマー予約によって、指定した時刻に自動的に再生することができます。

- 時計を正確な時刻に合わせておいてください。「時計を設定する」をご覧ください。

1 [CLOCK/TIMER] を繰り返し押して "SETTIMER" を選び、[ENTER] を押す。

"ON TIME"が点滅します。

2 "ON TIME" が点滅中に [ENTER] を押す。

「時」表示が点滅します。

3 [▶▶I / I◀◀] を押して「時」を選び、[ENTER] を押す。

「分」表示が点滅します。

4 [▶▶I / I◀◀] を押して「分」を選び、[ENTER] を押す。

"ON TIME"が点滅します。

5 [▶▶I / I◀◀] を押して "OFF TIME" を選び、[ENTER] を押す。

"OFF TIME"が点滅します。

6 手順 **3** と **4** を繰り返し電源 OFF する時刻を設定する。

"⏻"が点灯し、"OFF TIME"が点滅します。

7 [▶▶I / I◀◀] を押して "SOURCE" を選び、[ENTER] を押す。

"SOURCE"が点滅します。

8 [CD/DVD ▶/II]/[iPod/iPhone ▶/II]/[USB ▶/II]/[TUNER/AUX] を押してソース(音源)を選び、[ENTER] を押す。

"TUNER"を選んだときは、聞きたい放送局のプリセット番号も[▶▶I / I◀◀]と[ENTER]で選んでください。

"SOURCE"が点滅します。

9 [▶▶I / I◀◀] を押して "PLAYMODE" を選び、[ENTER] を押す。

10 [▶▶I / I◀◀] を押してプレイモードを選び、[ENTER] を押す。

プレイモード	機能
PLAY	電源を OFF にしたときに設定されていた音量で再生します。
AI PLAY	再生の音量が、電源を OFF にしたときに設定されていた音量まで徐々に上がります。

タイマー設定されました。

11 [⏻] **電源**を押して電源を OFF にする。

[STANDBY/TIMER]インジケーターが橙色に点灯します。

設定した時刻になると、自動的に電源がONになり再生が始まります。タイマー再生動作中は、"⏲"が点滅します。

■タイマーを取り消すには...

[CLOCK/TIMER]を繰り返し押して"CANCEL"を選び、[ENTER]を押す。

"⏲"が消灯します。

- タイマー再生音量の最大は16です。電源をOFFにしたときに設定されていた音量が17以上でもタイマー再生の音量は16になります。
- "ON TIME"と"OFF TIME"を同じ時刻には設定できません。"INVALID"と表示されますので、タイマー設定の時刻を設定し直してください。
- 設定操作には時間制限があります。設定中に自動的に取り消されたときは、手順**1**からやり直してください。

スリープタイマーを設定する

ソース（音源）を再生中や再生前にスリープタイマーを設定すると、設定時間（10 分から最大 90 分まで）後に再生を終了して自動的に電源を OFF します。

[SLEEP/APS]を押す。

"SLEEP"が点灯し、押すたびに以下のように設定時間が切り替わります。

10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60 → 70 → 80 → 90 → OFF → 10 →…

■設定後、スリープタイマーの残り時間を確認するには...

[SLEEP/APS]を押す。

さらに[SLEEP/APS]を押すと、スリープタイマーの再設定ができます。

■スリープタイマーを取り消すには...

[SLEEP/APS]を繰り返し押して"OFF"を選ぶか、[⏻]**電源**を押して電源をOFFにする。

- タイマーとスリープタイマーの両方が働いているときは、電源がOFFになる時間が早いほうが働きます。

知っておいてほしいこと

再生できるディスク

再生できるディスク	DVD VIDEO (DVD±R/RW)		CD (CD-R/RW)		VCD (SVCD*)	
ディスクに表示されているロゴマーク	DVD VIDEO	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc SUPER VIDEO
ディスクの大きさ	8 cm	12 cm	8 cm	12 cm	8 cm	12 cm
再生面	片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ	片面のみ
内容 映像+音声	約41分（片面1層） 約75分（片面2層） 約82分（両面1層） 約150分（両面2層）	約133分（片面1層） 約242分（片面2層） 約266分（両面1層） 約484分（両面2層）			最大20分 （SVCDの場合は、さらに収録時間が短くなります。）	最大74分
内容 音声			最大20分デジタル	最大80分デジタル		

- * 本機はSVCDの再生が可能ですが、一部の機能が働かない場合もあります。
- Dual Disc再生対応
  Dual Discとは、DVD規格に準拠したDVD面と、音楽専用面とを組み合わせた両面ディスクです。
  DVD面に記録されたDVDビデオコンテンツについては再生可能です。音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本機での再生は保証致しません。
- 本機はDVDビデオモードで記録したDVD±R/RWディスクの再生が可能ですが、記録した機器、ディスクの製造元などにより、再生できない場合もあります。
- CD-R/RW再生の場合、制作者の意図や、録音状態その他によって再生できない場合があります。
- 本機はCPRMモードで記録されたDVD-R/RWディスクは再生できません。
  CPRMとは、Content Protection for Recordable Mediaの略で、記録媒体用著作権保護技術の一つです。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

DVDオーディオディスク、DVD-RAMディスク、SACDディスク、DVD-ROMディスク、VSDディスク、CDVディスク（音声部分のみ再生可能）、CD-G/CD-EG/CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）

DVDビデオのリージョンコードとテレビ方式について

本機では、NTSCのテレビ方式で収録され、リージョンコードにALLまたは2が含まれているDVDビデオの再生ができます。ジャケットに"NTSC日本国内向け"と記載されていないDVDビデオは、リージョンコード以外に、記録されている映像信号のテレビ方式にも注意ください。接続するテレビのテレビ方式と、DVD ビデオに記録されている映像信号（本機から出力される映像信号）のテレビ方式が異なると､乱れた映像になります。日本国内のテレビは、NTSCテレビ方式です。NTSCテレビ方式で収録されたDVDビデオを使用ください。

■ リージョンコードについて

DVDビデオには、国ごとに割り当てられたリージョンコード（地域番号）があります。本機のリージョンコードは2です。ディスクのジャケットにALLまたは2を含むリージョンコードが表示されているDVDビデオが再生できます。

■ テレビ方式について

テレビ方式には、日本やアメリカなどで採用されているNTSC方式とヨーロッパなどで採用されているPAL方式、フランス、ロシア、東欧などで採用されているSECAM方式があります。

VCDのテレビ方式について

NTSC方式で収録されているVCDを再生します。PAL方式などNTSC方式以外で収録されているVCDを、日本国内向け一般家庭用テレビ（NTSC方式）で見ると、乱れた映像になります。

ディスクや本機の状態による操作制限

DVDビデオやVCD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。

本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。

操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコン""が表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

DVDディスクに表示されている各種のアイコン（絵表示）について

アイコン	意味
ALL, 2	再生可能な地域番号（リージョンコード）を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大8 ヶ国語）
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大32 ヶ国語）
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大9アングル）
16:9 LB	選ぶことのできる画面の縦横比を示します。左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

知っておいてほしいこと

本機で使えるメディア

メディア		説　明
ディスク	市販の CD、DVD	・コピーコントロール付きCDなど、CDの規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 ・CD-ROM、CD-R/RW、DVD±R/RWディスクを記録した機器や記録状態、また使用しているCD-ROM、CD-R/RW、DVD±R/RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。
	CD-DA のフォーマットで記録した CD-R/RW	
	DVDビデオモードで記録したDVD±R/RW	
	MP3/WMA/MPEG1/MPEG2/DivX/JPEGを記録したCD-ROM、CD-R/RW、DVD±R/RW	
USB	USB フラッシュメモリー	・[USB] 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。 ・ファイルシステムは FAT16 または FAT32 に対応しています。
	USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	

ディスクに書き込むときのご注意

- CD-R/RWは、ISO 9660 Level 1またはLevel 2あるいはJoliet形式で記録してください。
- DVD±R/RWは、UDF-Bridge形式で記録してください。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダーを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルとCD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- ファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3、wma）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3、wma)を付けないでください。拡張子については、「再生できるファイル」をご覧ください。（25ページ）
- ビデオファイルのファイル名には正しい拡張子（mpg、mpeg、dat、vob、mod、avi、divx、mp4）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、ビデオファイルでないものには拡張子（mpg、mpeg、dat、vob、mod、avi、divx、mp4)を付けないでください。拡張子については、「再生できるファイル」をご覧ください。（25ページ）
- 画像ファイルのファイル名には正しい拡張子（jpg、jpeg）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、画像ファイルでないものには拡張子（jpg、jpeg)を付けないでください。拡張子については、「再生できるファイル」をご覧ください。（25ページ）

再生できるファイル

本機は以下のファイルが記録されたCD-ROM、CD-R/RW、DVD±R/RW、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

拡張子：.mp3
ビットレート：8 kbps ～ 320 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：
Windows Media™ Audio準拠
拡張子：.wma
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

MPEG1/MPEG2ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1/2
拡張子：
.mpg、.mpeg、.dat、.vob、.mod、.avi
映像解像度：720 × 480、720 × 576
プロファイルとレベル：
MP@ML (Main Profile at Main Level)
音声フォーマット：MPEG Audio Layer 2/3
音声サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz
音声ビットレート：
32–384 kbps（固定ビットレートのみ）
ファイルサイズ：4 GB以下

DivXファイル

ファイルフォーマット：DivX
拡張子：.divx、.mp4、.avi
映像解像度：
352 x 240、352 x 288、720 x 480、720 x 576
音声フォーマット：MP3、Dolby Digital
音声サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz
音声ビットレート：
32–384 kbps（固定ビットレートのみ）
ファイルサイズ：4 GB以下

JPEGファイル

ファイルフォーマット：ベースラインJPEG
拡張子：.jpg、.jpeg
解像度：8192 × 7680 以下
ファイルサイズ：4 MB以下

ファイル数制限

最大フォルダー数：130（ディスク）、128（USB機器）
最大ファイル数：999

- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。

表示できる最大文字数

フォルダー名：11文字
ファイル名：255文字（拡張子含む）
タグ表示(タイトル/アーティスト/アルバム)：
MP3 ID3タグ：30文字
（ID3 v1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/ 2.4 対応）

- 表示できる文字種は、半角英数字です。表示できない文字は正しく表示されないか、または"-"が表示されます。
- 文字の表示は、テレビ画面のみです。

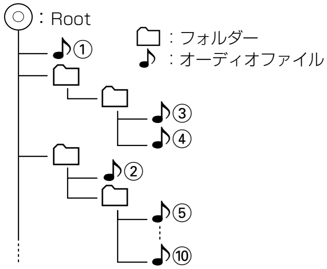
その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きWMAファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

フォルダーやオーディオファイルの再生順について

- オーディオファイルは、まず、Root（ルート）にあるものから再生されます。
  次の図は、本機がフォルダーやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトにより異なることがあります。

  フォルダー構成例：



再生順：

♪①➡♪②➡♪③➡♪④➡♪⑤……

メンテナンス

知っておいてほしいこと

ディスクの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 再生面にふれないように持ってください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

CD-R/RW、DVD±R/RWディスクについて

- レーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD±R/RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

ディスクのご注意

- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

ディスクの保管について

- 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ディスクが汚れたときは

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にUSB機器は付属していません。
- 本体前面部の**[•⇠ USB]**端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。
- USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみを認識します。
- セキュリティ機能は、解除してください。
- 本機からUSB機器へ録音することはできません。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500 mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

iPod/iPhoneの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPod/iPhoneに付属の取扱説明書をご覧ください。
- iPod/iPhoneの種類により、動作が異なることがあります。
- 本機からiPod/iPhoneに録音することはできません。
- iPod/iPhoneのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPod/iPhoneが正しく再生されないときは、iPod/iPhoneの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  -iPod/iPhoneについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
  <http://www.apple.com/jp/>

使用できるiPod/iPhoneについて

- 本機に接続できるiPod/iPhoneは以下の通りです。

（2011年12月現在）

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch
- iPod (4th generation)
- iPod classic
- iPod photo (4th generation)
- iPod video (5th generation)
- iPod mini (2nd generation)
- iPod mini
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

免責事項について

USB機器/iPod/iPhoneの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行なってください。

❶USB機器などの外部機器を取り外し、ディスクを取り出します。

❷ソース（音源）を"CD"にして[►/II]を押し、"NO DISC"がディスプレイに表示されるのを確認します。

❸数秒間待ち、電源をOFFにします。

❹その他機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

ディスクの取り出しをロックする

ディスクを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

本体：

[■]を押しながら[▲]を押す。

"DISC LOCKED"と表示されます。

■ ロックを解除するには...

もう一度[■]を押しながら[▲]を押す。

"DISC UNLOCKED"と表示されます。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- ソース（音源）切り替え
- 音量/音質の設定
- チューナー設定

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

本機をリセットするには

症状	ここをご確認ください / 対策
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。 ❶ [⏻] **電源**を押してスタンバイモードにする。 ❷ リモコンの [ENTER]、[7] と [⏻] **電源**を同時に押す。 "RESET OK" と表示され本機がリセットされます。

リモコン

症状	原因 / 対策	参照ページ
リモコンで操作できない	・新しい電池に交換する。 ・操作範囲内で操作する。	10

アンプ・スピーカー

症状	原因 / 対策	参照ページ
音声、映像が出ない	・コードを正しく接続しなおす。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。	5 〜 7 11
電源が OFF する	・省エネモード（A.P.S.）が ON に設定されている。 省エネモード（A.P.S.）を OFF にする。 ・スリープタイマーが設定されている。 スリープタイマーを OFF にする。	18 21
時刻が表示されない	・時計を設定する。	20
タイマーが作動しない	・時計を設定する。 ・プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	20

チューナー

症状	原因 / 対策	参照ページ
放送局が受信できない	・アンテナを接続する。 ・受信したい放送局の周波数に合わせる。	5 17
雑音が入る	・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 ・テレビから離す。	—

ディスク/USB/iPod/iPhone

症状	原因 / 対策	参照ページ
ディスクを入れても再生できない	• レーベル面を上にして、正しく入れる。 • ディスクの汚れをふきとる。 • ディスク表面に付いた露を蒸発させる。	11 26
音声、映像が出ない	• USB 機器 /iPod/iPhone を正しく差し込む。 • USB ケーブルを正しく接続する。 • USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。 • [▶/II] を押す。 • ディスクの汚れをふきとる。 • テレビの入力切換を確認する。 • iPod/iPhone の画像 / 映像は、テレビには出力されない。	6 7 11 ～ 13 16 26
映像が乱れる	• 映像信号方式をテレビに適した設定にする。 • TV SYSTEM の設定をテレビに適した設定にする。	18 19
再生できないファイルがある	• ファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるファイルか確認する。	25
再生するまでに時間がかかる	• フォルダー数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	25
タグ情報が正しく表示されない	• 本機で表示できるタグ情報を確認する。	25
iPod/iPhone がリモコン / 本体で操作できない	• 対応モデルかどうか確認する。 • iPod/iPhone のソフトウェアを最新版にアップデートする。	27

メッセージ表示一覧

表示	意味 / 対策
NO DISC	ディスクが入っていない。→ ディスクを入れる。
NO IPOD	iPod/iPhone が接続されていない。iPod/iPhone を正しく認識できない。→ 電源を OFF にして iPod/iPhone を接続しなおしてから電源を ON する。
NO USB	USB 機器が接続されていない。USB 機器が接続できない。→ 電源を OFF にして USB 機器を接続しなおしてから電源を ON する。 USB 機器に再生できるファイルが入っていない。→ 再生できるファイルを入れる。
NOT SUPPORT	この USB 機器は、本機では使用できない。
WRONG REGION（テレビ表示）	DVD ビデオのリージョンコードが ALL または 2 ではない。

定格

[アンプ部]

実用最大出力………… 20 W + 20 W (JEITA 6 Ω)
入力端子（感度／インピーダンス）
　AUX IN ………………………… 125 mV / 47 kΩ
出力端子
　AUDIO OUT……………………………… 0.5 V (rms)
　DIGITAL OUT（同軸）

[チューナー部]

FMチューナー部
　受信周波数範囲 ………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
　アンテナインピーダンス ……………… 75 Ω不平衡

[DVDプレーヤー部]

読み取り方式
　………… 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
信号方式……………………………………………… NTSC
映像出力……………………………… 1 Vp-p (75 Ω)
コンポーネント映像出力
　Y信号 ……………………………… 1 Vp-p (75 Ω)
　Cb/Cr信号 ……………………… 0.7 Vp-p (75 Ω)

[USB部]

対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
供給電流………………………… DC 5 V ⎓ 500 mA

[iPod/iPhone部]

供給電流……………………………… DC 5 V ⎓ 1 A
iPod/iPhone接続方式 ……………………… アナログ

[電源部・その他]

電源電圧、電源周波数… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力……………………………………… 35 W
待機時消費電力……………………………… 0.5 W以下
最大外形寸法……………………………… 幅 160 mm
高さ 108 mm
奥行 270 mm
質量（重量）…………………………… 1.5 kg（正味）

[スピーカー部]

エンクロージャー………………………… バスレフ方式
スピーカー…………………………… 89 mm コーン型
インピーダンス………………………………………… 6 Ω
最大入力……………………………………………… 20 W
最大外形寸法……………………………… 幅 136 mm
高さ 210 mm
奥行 180 mm
質量（重量）……………………… 1.3 kg（1本/正味）

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

メンテナンス

- DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、米国などの特許等や、Rovi 社の所有するそのほかの知的財産権によって保護されています。改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporation およびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- DIVX ビデオについて : DivX® は、Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified®（DivX 認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。
- DIVX ビデオオンデマンドについて : DivX ビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、この DivX Certified®（DivX 認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューの DivX VOD セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。
- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- "Made for iPod"、"Made for iPhone" とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーを iPod、iPhone で使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※日曜、祝日及び当社休日を除く

フリーダイヤル　**0120-2727-87**

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8950**
- FAX　**045-450-2308**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www2.jvckenwood.com/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12